



霧が丘

令和4年5月27日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 関口 和弘

SDGs へのつながりを意識して

小学部副校長 井桁 寛

今年も霧が丘連合自治会からお花をいただきました。

先日、小学部も中学部も委員会の児童生徒が中心となって花壇に植えました。いただいた花を大切に育て、美しいまちづくりに努めていきたいと思ひます。

さて、本校の中期学校経営方針では、ESD（持続可能な開発のための教育）推進を進めています。

ESDの推進では、教科・総合的な学習でSDGs（持続可能な開発目標）につながる活動を計画し、どんな活動がSDGsにつながるかを児童生徒が意識をして取り組んでいけるように進めています。

SDGsには、「質の高い教育をみんなに」「飢餓をゼロに」「気候変動に具体的な対策を」等、17のゴールがあります。児童生徒が連合自治会からいただいた花を植えるという活動は、SDGsでは、15番の「陸の豊かさを守ろう」のゴールに関係しています。

現在世界では、パリ協定など、温暖化対策を進め、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より低く保つ努力をするという長期目標を掲げています。そのような状況の中で、世界の国々の人々がSDGsの17の共通ゴールを目標に協力して取り組んでいます。

「電気をこまめに消す」「ノートを大切に使う」等、SDGsの17のゴールに向けて、子どもができるところから取り組んでいくこと、そして今行っている活動が、SDGsの17のゴールのどこにあたるのかを確認していくことが大切だと考えます。

霧が丘学園では、このような活動を継続して取り組むことにより、「大人になっても一人ひとりが持続可能な社会を作っていく」ということに目を向けることができる子どもたちの育成を進めています。

ご家庭や地域でもぜひご協力をお願いします。

「階段に掲示しているSDGs資料」

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】
各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



「花を植える児童・生徒」



QRコード